



# コロバたより

2014. 8. 1. No. 18

発行 沖洲放課後クラブ(愛称 コロバクラブ)

〒770-0874 徳島市南沖洲 1-3-4

TEL&FAX 088-664-2875 携帯 090-7626-5643

メール okinosu.hot.chapel@gmail.com

## ある小学校の茶道クラブのこと

コロバクラブお茶・お花講師 野地 美和子



茶道クラブが始まり 2 ヶ月が経ちました。チャイムが鳴ると校庭で遊んでいた子どもたちがそれぞれ目的の教室に入っていきます。「茶道クラブ」は廊下を突き当たった一番奥の教室です。遅くなった子どもが洗い終えた手を振っていると、女の子がハンカチを貸してあげていました。上靴を脱ぐと向こう向きに靴を揃え畳に正座をします。全員揃い「静かに目をつぶりましょう。」という当番さんの声で一斉に目を閉じます。目を閉じたものの前の休憩時間の余韻でしょうか、顔いっぱい汗をかきながら、

ぎゅっと目をつぶる人、薄目を開ける人、その中に落ち着いた穏やかさと優しさを見ることが出来て頼もしく思えてきます。

小学校 4 年生になるとクラブ活動が始まります。6 年生優先のため 4 年生は希望したクラブに入れず、第 4 希望で決まった茶道に運命を預けることとなります。さあ修行の始まりです。私語は禁止、背筋を伸ばして正座、おじぎの仕方、お箸の持ち方、挨拶のタイミング、守らなければならない約束ごとがいっぱいです。唯一の楽しみはお菓子が食べれるということでしょうか。

小学生に茶道を指導するということはお点前の上達を望むものではありません。お点前が上手に出来るにこしたことはありませんが、私の思いは日本の文化の一つに「茶道」というものがあり、お茶を学ぼうちに人を思いやる気持ちや礼儀作法などが身につけば良いと思うのです。あるお母さんから、子どもが家族みんなの靴を揃えてくれるようになったと嬉しそうでした。

※野地先生は、昨年のお花に続いて今年も 2 回のお抹茶教室を指導して下さいます。子どもたちは、温かくて優しく、しかも凛としている野地先生が大好き。みんな正座して、真剣にお点前を練習しました。



先生手作りのお菓子に感  
動。

### 《今年も楽しく活動しています！》

#### 月曜日のコロバスペシャル

特別な支援が必要な子どもたちのための少人数のソーシャルスキルグループ学習(コロバスペシャル)が今年も楽しく始まっています。今年も、沖洲小、福島小、城東小、内町小、千松小のお友だち 7 名と保護者 7 名と大学生ボランティア 2 名の総勢 16 名です。毎週月曜日の夕方 6 時～涙あり、笑いあり、汗びっしょりの濃厚な 1 時間です。興味のある方は、ぜひ覗いてみて下

さい。なお、ボランティアの一人かなみ先生は、内閣府の青年国際交流事業のコアリーダー育成プログラムに代表として選ばれて、イギリスに行くことになりました。10月6日には、その壮行会をしますのでお楽しみに。かなみ先生、おめでとう！

### 前期のソーシャルスキル学習例

- ・気持ちのいいあいさつ      ・こんな時どうする？①②③④  
(後述「ちょっといい話」参照)
- ・上手に発表しよう      ・夏祭りの計画(自分にもよくて相手にもいい提案の仕方とまとめ方)
- ・スペシャル夏祭り(焼きそば・かき氷作りとお化け屋敷)



今回の夏祭りの話し合いは、疾風怒濤の大荒れ。子どもたちからお化け屋敷がしたいの聲にお母さん方から、「技能的にも時間的にも無理無理！」の意見が続出したからです。しかし、子どもたちはそれにめげることなく、次々にお母さん方が納得するようなアイデアを出し、ついに実現することに。当日は、お母さん方からキャーキャー大悲鳴が上がり、お化け屋敷大盛況でした。上の写真は「こうやって脅かしました。」と発表する自信に満ちた子どもたちです。

### 『ロボスペシャルのちょっといい話』

#### 『コントロールドール島と自分で選ぶ島』

爽やかな人間関係を築く方法は、たった一つ「相手を変えることは出来ない。」と心から思うこと。そして、いつでも「自分を変えることは出来る」と考えることです。

私たちは、ほとんどの人がコントロールドール島に住んでいます。そして、周りの人を何とかして自分の思い通りにコントロールドールしたいと思っています。そのため怒ったり、脅したり、不満愚痴を言ったりして過ごしています。また、自分自身も誰かにコントロールドールされた(あるいは、してしまった)と思い込んでいて、すぐ被害者意識や罪悪感に悩みます。

しかし、自分で選ぶ島に住んでいる人は、どんな状況になっても、自分は自分を変えることが出来ると思っていますから、常に「今、自分には何が出来るだろう。」と考えて行動します。相手と意見が違った場合には、相手の言い分をしっかりと聞いて、意見をすり合わせます。

思いがけない結果が出て、落ち込むこともありますが、落ち込み続行ロードを進むか、元氣回復行動を取るかを選んで、自分の行動や考えを変えるので、気持ちや体調も自然に回復します。誰かに腹を立てるよりも、今何が出来るかに集中するので、爽やかな毎日を送ります。さあ皆さんはどっちの島に住みたいですか。

### 《コロバクラブの活動日記から①》「夏の絵画教室」

今年度前期の活動の中で上記の春のお茶会に続いて、大人気だったのが夏の絵画教室です。講師は、鳴門から来て下さった谷添敦子先生。先生が夏の夜空に広がる打ち上げ花火の描き方を「くるくる、とん、じゃぶじゃぶ」と色の混ぜ方や水の分量なども含めて丁寧に指導してくださったので、みんな思い思いの花火を上手に描きました。みんなの作品を集めると「ドドーン」と連発花火大会の音が聞こえてきそうな華やかで楽しい展示になりました。



## 《コロバの活動日記から②》「どうぞよろしく会」&

### 「緑のカーテン」&「サツマイモ植え」

コロバクラブで大事にしていることのひとつは、異年齢のよさを味わうことです。いつも上学年と下学年がペアを作って活動します。ゲームをする時も苗を植える時も仲良く助け合い、ともにメンバーシップやリーダーシップが育っています。これからも自分に対する自信や他者に対する信頼感を深めて欲しいと願っています。



### 《コロバの活動日記から③》コロバ夏祭り

今年もコロバ夏祭りについての話し合いは、コロバスペシャル同様、多いに盛り上がりました。毎回「自分にもよくて、相手にもいい提案をしよう」を合言葉に、やりたいことと作って食べたい物をしっかり話し合うのですが、コロバでは、みんなが納得するまで、じゃんけんや多数決を取らないのが原則。毎回、国会も顔負けの素晴らしい話し合いです。そして、今年は何と金魚すくい以外は、食べ物のお店がずらりと並びました。作って食べたい物は、(作りやすい)焼きそばに決まったので、ボランティアの先生方は、内心ほっとしました。

#### 夏祭り役割分担

金魚すくい：はるき,ともき,りょうた  
さやか先生  
かき氷屋：つばさ,あおい,ちほ先生  
わたがし屋：じん,わたる,ゆうや,  
ななみ,あおい,のぶ先生  
たこ焼き屋：みあ,みつき,さき  
アイス屋：りんか,あいり,ゆかな

- ♡お友だちの感想①よかったことやがんばったこと
- ・アイス屋さんで、かたいアイスを入れるのをがんばりました。みんなが「おいしい。」と喋ってくれて良かったです。
  - ・かき氷をゴリゴリするのをがんばった。たべまくって、はらいっぱいになりました。
  - ・大人にふくろをあげたこと。金魚すくいが楽しくて、たこやきやわたがしがおいしかった。
  - ・金魚すくいの説明をがんばった。金魚が売り切れた。まさか売り切れとは思いませんでした。
  - ・たこ焼きを作るのは初めてだったけど、うまくできてよかった！
  - ・わたがしがきれいにできた。
  - ・かんばんや屋台作りをがんばった。

#### ♡感想②見つけたともだちのよいところ

- ・みつきちゃんががんばってたこやきをやっていた。
- ・ゆかなちゃんとりんかちゃんが「遊んで来ていいよ。」と喋ってくれた。
- ・みあちゃんが新しいアイデアを出していた。
- ・さきちゃんの焼きそばがうまくてできていた。
- ・ななみちゃん. じんくん. わたるくん. ゆうやくくんがわたがしを楽しそうに作っていた。
- ・あおいちゃんのかんばんがよかった。
- ・あおいちゃんをつばさくんがいっしょけんめいかき氷を入れていた。
- ・はるきくん、ともきくん、りょうたくくんが金魚すくいが楽しそうに見えた。
- ・あいりちゃんがやりかたを教えてくれた。

## 《コロバの活動日記から④》 コロババザー、太極拳、楽しい理科の実験、ゴーヤのカーテン

バザーは、ほんとにたくさんの方々のご協力を頂き、盛況のうちに無事終了しました。子どもたちは、前日準備もバザー当日もとても協力的でした。また、理科の実験や太極拳にも取り組みました。講師の先生本当にありがとうございました。ゴーヤの緑のカーテンも大きくなりました。



左：バザー&手作り品  
上：楽しい理科の実験  
右：太極拳&ゴーヤカーテン



### 《学生ボランティアの先生のお話》



- ・たくさんのお友達と仲良くなれて、嬉しかったです。後期はもっとみんなのよいところを知りたいです。(のぶ先生)
- ・今学期を通して、一人一人の成長が昨年より身近に感じられました。5年生がリーダーになり戸惑いもあるのかなと思いましたが、今学期最後には5年生の仲も深まり、後期はよい手本となれると思います。(ちほ先生)

・気持ちの切り替えが上手になった子たちや小さな友達に気配りができるようになった子たち、目の前のことに一生懸命に取り組めるようになった子たち。みんなの成長をそばで見られてとても嬉しかったです。(さやか先生)

### 《保護者の方々や親のためのコミュニケーション講座参加者の方々の感想》

- ・子どもは、毎週コロバの時間を楽しみにしています。次々に家庭ではなかなかできないよい体験ができて喜んでいきます。
- ・コロバスペシャルの学びが、子どもに声かけをする時など役に立っています。子どもの方も気持ちの切り替えが少しずつうまくなって来たと思います。
- ・他の方々の子育ての様子をお聞きすると目から鱗ということがよくあります。当然こうすべきでしょ、これしかないでしょと思い込んでいたことが、他の家庭では違うんだと知ってカルチャーショックです。子どもたちに少し優しくなれそうです。
- ・その家にとっては、ごく普通の躰と当たり前の子育てを見直すことが出来て、悩み事の解消やヒントを貰いました。また、忘れていた笑顔で子どもに接することを思い出させてくれました。 ※なお次回の親のためのコミュニケーション講座は、10月7日です。お楽しみに。途中参加OKです。

